

インド再発見 ～意外と近いインド～

2010年1月18日
サオラ株式会社

須田 アルナ ローラ

距離 (A - B) =

f (絶対値、関係(知)、目的、手段)

今日の目的

1. 絶対距離を把握する
2. 知るにより距離を減らす
3. 距離をさらに減らす手段を提案

七福神

恵比寿

大黒天(シヴァ + 大国主命)

毘沙門天(クベーラ/ヴァイシユルヴァナ)

弁才天・弁財天(サラスワティー)

福祿寿

寿老人

布袋

日印関係の歴史

仏教の伝来(736年)

第二次世界大戦

チャンドラ・ボース

東京裁判 パール判事の「無罪」判決

サンフランシスコ講和会議へのインドの不参加

上野動物園へ象の寄贈

日印条約は日本の最初の条約

アジア新時代における日印パートナーシップ

4500億円のDMICプロジェクト発足 (2007年)

日印関係

2000年間でインド・日本は一度も敵対せず

インド人へ質問：
日本との関係をどう思いますか？

良好でない
わからない



(外務省データ・2009年2月調査)

5000年の足跡

マハーバーラタ (最長の叙事詩、BC1500)

ヴェーダ (最古文書、BC1800-1100)

世界初の大学タクシラ (BC500以前)
一万人の学生、60科目の教育

ゼロ、二進法、十進法の発明(4世紀)

1-11世紀(と18世紀) 世界一の経済大国
(1世紀のGDP32.9%、11世紀28.9%)

4 大宗教が生まれ、世界最大最古民主主義国家
非暴力、不服従の理論(ガンディー)

インドの表情

インドのモットー

सत्यमेव जयते

真理のみが勝つ

(写真・画像は除きます)

歴史

インダス文明

BC1500	アーリヤ人による侵略
500	ペルシャ人による侵略
400	釈迦により仏教が始まる
326	アレクサンダーによる侵略
321-185	マウリヤ時代(アショーカ)
AD319-550	グプタ時代、インドの黄金時代
1526-1739	ムガル帝国(アクバル、シャージャハーン)
1757	英国植民地
1947	英国より独立

(以下の地図をご参照ください)

マウリヤ帝国の領土

ムガル帝国の領土

マラタ帝国の領土

英国領インド帝国の領土

言語分布図

インドの地図



インドとの最大距離

時間

と

結果

カルマ論

カルマ(自分に与えられた役目)を果たすことには
権利があるが、(その)結果には(権利は)まったくない。
自分が行なったことの結果の原因は自分とは思わず、
自分のカルマを果たさないことにおちいるな。

(インドの叙事詩『マハーバーラタ』にある
『バガウッドギター』より抜粋)

日本のものづくりの背景

徳川時代の政策

1700年頃
石門心学、一所懸命に
働くことが大事...



日本人の高就学率

1850年頃 就学率70-86%
(英、仏、露に比べ高い)
寺子屋(江戸時代)での教育が
明治以降の発展に大きく影響

多彩性と品質の関係

perfection standardization (標準化)
Uniformity (統一性)

uniformity 1/ Diversity

perfection 1/ Diversity
品質 1/ 多彩性

多彩性の対価

生活水準においての大きな格差

規制の不十分さ

高い完成度を期待しない姿勢

成功を可能とする運営

1. 違う国の人間であることをできるかぎり意識しない「インド人にも全体を見せる」
本気で向き合う
2. 運営チームに現地語(ヒンディー語等)学習者
又はインドに対して積極的な若手日本人を
配置(同様に日本語ができる又は日本に対し
勉強の意志があるインド人も配置)
3. 現行商品:新ビジネス=3:7と目標にする

インドに是非生かしたい日本の長所

1. 品質を見極める能力
2. あきらめずに仕上げる動機
3. サービスの精神
4. チーム作りのノウハウ(組織力)
5. 組織との一体性を感じる能力

インド人の取り入れるべき長所

1. 個々の成長する動機(野望)
(リーダーシップを採りたい精神)
2. 全体を見る、設計する(考える)能力
3. 目的に対しての鋭さ
4. 若くても十分備わっている責任感
5. 多彩性をこなす能力

Vasudhaiv kutumbakam

(earth is a family)

全世界は一つの家族

マントラ：
人間の本質は一緒である

違い(距離)は、
自分の育ち(コンディショニング)
により生じるものである

インドは日本人の文化的母
ではないかもしれないが、

文化的伯母であるとは言える